



臨床腫瘍センターだより



緩和ケア部門より 

第16号 (2009年8月11日)

がん診療に携わる先生方へ

『緩和ケア実施計画書』のサインにご協力ください。

緩和ケアチームでは患者さんを紹介いただいた後に、以下のような「緩和ケア実施計画書」を作成しております。

これはご本人に「なぜこのようなチームが関わるのか」を明確にお伝えすることと共に、主治医チーム・病棟看護師・緩和ケアチームが全体で症状緩和・その他の苦痛の緩和にあたることを示すためのものです。数多くの職種が関わることで、より専門性の高い緩和ケアが受けられることをご理解いただいております。

この実施計画書にサインをいただくことで「緩和ケア診療加算」の算定基準を満たすこととなります。(300点/1人/日)

また、病棟クランクを通じて記名を依頼する場合がありますので、その際にご協力をお願いいたします。

緩和ケア実施計画書			
ID	◎PATIENTID	生年月日	◎PATIENTBIRTH
フリガナ 氏名	◎PATIENTNAMEKANA ◎PATIENTNAME	住所	
主訴 診断名			
身体症状	<input type="checkbox"/> 痛み <input type="checkbox"/> 呼吸困難 <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> 口渇 <input type="checkbox"/> 咳・痰 <input type="checkbox"/> 食欲不振 <input type="checkbox"/> 嘔気・嘔吐 <input type="checkbox"/> 便秘 <input type="checkbox"/> 腹部膨張感 <input type="checkbox"/> 浮腫 <input type="checkbox"/> 尿閉・失禁 <input type="checkbox"/> その他	身体活動 状況(PS: Performa nce Status)	<input type="checkbox"/> 0 無症状で社会生活ができ、制限をうけることなく発病前と同等に振舞える。 <input type="checkbox"/> 1 軽度の症状があり、肉体的労働は制限を受けるが、歩行・軽労働や坐業はできる。 例えば、軽い家事、事務など。 <input type="checkbox"/> 2 歩行や身の回りのことはできるが、時に少し介助がいることもある。軽労働はできないが、日中50%以上は起居している。 <input type="checkbox"/> 3 身の回りのある程度はできるが、しばしば介助が必要、日中の50%以上は就床している。 <input type="checkbox"/> 4 身の回りのこともできず、常に介助が必要、終日就床している。
精神状態	<input type="checkbox"/> 不安 <input type="checkbox"/> 抑うつ <input type="checkbox"/> 不眠 <input type="checkbox"/> せん妄	<input type="checkbox"/> その他 []	
その他の問題	<input type="checkbox"/> 家族() <input type="checkbox"/> 経済() <input type="checkbox"/> 仕事・趣味・生きがいなど <input type="checkbox"/> その他()		
本人・家族の希望			
介入目標	①	②	③
緩和治療・検査計画	<input type="checkbox"/> 薬物療法 <input type="checkbox"/> 精神療法(カウンセリング、リラクゼーションなど) <input type="checkbox"/> 理学・作業療法 <input type="checkbox"/> その他		
説明日	年 月 日	緩和ケア医	
本人の署名		精神科医	
家族の署名	(続柄)	緩和ケア担当看護師	
主治医		緩和ケア担当薬剤師	



「がん性疼痛緩和指導管理料」をご存知ですか？

平成20年4月1日より「がん性疼痛緩和指導管理料」の算定が可能となりました。

- 算定基準は
- ①WHO方式のがん性疼痛管理をする
 - ②医療用麻薬使用についての説明をする
 - ③副作用対策・レスキュー使用の指導をする
 - ④継続的に疼痛管理指導をする



となっております。この基準に合致する場合、100点/1人/月を加算することができます。(入院、外来関係なく毎月算定することが可能です。)
「指導料」のアイコンからオーダーすることができますので、がん性疼痛管理を行っている担当医の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



薬剤部よりお願い

ミキシングに時間がかかるため、予定注射入力には新レジメンシステムを使用の上、**投与注入時間**を入力してください。

<7月の外来化学療法センター利用状況> 利用者数 217名

消化器外科Ⅰ	35	消化器内科	13
消化器外科Ⅱ	19	婦人科	23
乳腺外科	64	泌尿器科	2
呼吸器科	18	血液内科	6
呼吸器外科	1	小児科	32
皮膚科	4	合計	217



お知らせ

Cancer Board開催案内

骨軟部 8/17(月) 18時30分～
 悪性リンパ腫 9/7(月) 19時30分～
 消化器 9/10(木) 19時30分～

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的を開催しております。医療従事者であればどなたでも出席できます。

緩和ケア学習会

テーマ：「緩和医療とメイク」
 ～顔と体と心はつながっている～
 講師：当院乳腺外科 渡辺久美子 先生
 日時：平成21年8月11日(火) 18時～
 場所：カンファランス2



臨床腫瘍セミナー開催案内

～知っておきたい頭頸部腫瘍の最新治療！～

演題：「頭頸部癌の最近の治療」
 講師：本学耳鼻咽喉科学講座 講師 松塚 崇 先生

演題：「口腔癌に対する最近の治療」～動注化学療法を中心に～
 講師：本院歯科口腔外科 部長 長谷川 博 先生

日時：平成21年8月18日(火) 18時～19時

場所：第二臨床講義室

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します。

掲示版

退院前の患者さんで外来化学療法センターを見学希望の場合は、内線3530までご連絡の上見学にいらしてください。